

聞

新

條



# 議員諸氏はチーム弥彦として

冬季五輪で画期的な活躍をした日本選手陣の中でも私が特に感銘を受けたのが、スケートの女子団体パシュートとマススタートである。

オランダとのレースはハラハラドキドキで、涙が止まりませんでした。しかし、この快挙の裏にはオランダからのコーチの力が大であった。自身はオリンピック経験がないのに、日本のコーチ要請を受け、見たこともな

い日本選手たちをまとめたのである。各実業団チームごとに練習していたものをナショナルチームとして一つにまとめ、合宿してきた。

各実業団の監督、コーチは当初困惑したはずであるが、国のため選手のためにと送り出したのだらう。

また、絶対王者のオランダ関係者もコーチを日本に送り込んだ心の広さにも感銘。スケートだけでなく、各競技とも多くの外人コーチの力が過去の最高の成績をもたらさ

した。この図式を見ると、我が弥彦村にも似ているところがある。村に戻って間もない、行政経験のない小林氏を村長に担ぎ上げ、村の再生を図った村民。そして、村長はかずかずの施策を短期に進めてきた。

しかし、スケートなどと違つのは議会では個人の意思か、それぞれの支援者の理解が得られないのか、チーム弥彦としての一本化ができない。急務の財政再建についても

ナショナルチームに入らなくても再建ができるのではないか、日本国からの総務課長には村の何がわかるのか、日本国からの副村長はいらない、自分たちだけでやってゆける

の姿勢を貫いている。しかしそれでは村がメダルどころか大会にも出場できないほど低迷するのを待つだけである。

自転車競技にも団体追い抜きがありますし、競輪では同地区同士でライオンを作り最後には勝利を狙う作戦を競輪ファンなら今回感じたはずす。

この心を弥彦村民の宝として今後の村の発展に向けてほしいものです。

村の力を発揮できるように金メダルでなくとも、メダルがなくなるとも、せめて入賞できるような結果で近隣に弥彦村の存在をアピールできるような議員諸氏がチーム弥彦として活動してほしいと願っています。(涙もろいスポーツ好き村民)

最高のおもてなしで

亭

料

に

こめ楼

TEL 32-0281代